

令和4年度

登録左官基幹技能者認定試験問題 (60分)

東海ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題 (四肢択一法)

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて8頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席していてください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題1 登録基幹技能者に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、熟達した作業能力がある。
2. 登録基幹技能者は、豊富な知識を有している。
3. 登録基幹技能者は、現場を効率的にまとめることができる。
4. 登録基幹技能者は、闘争能力を備えている。

問題2 建設キャリアアップシステムに関して、最も不適当なものはどれか。

1. レベル1は、見習い技能者であり、カードの色はホワイトである。
2. レベル2は、一人前の技能者であり、カードの色はブルーである。
3. レベル3は、職長であり、カードの色はシルバーである。
4. レベル4は、軽度なマネジメント能力を有する技能者であり、カードの色はイエローである。

問題3 登録基幹技能者の活用に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、主任技術者の要件の1つとして認められている。
2. 経営事項審査は経営規模、経営状況、技術力等が総合的に評価され、登録基幹技能者は、審査項目「Z1:技術職員数」において、加点評価(3点)の対象となっている。
3. 登録基幹技能者は、道路交通法令上においてもたいへん重視されている資格の1つである。
4. 登録基幹技能者は、公共工事の「総合評価方式」での加点対象項目及び元請企業の「優良技能者認定制度」での要件としても活用が進んでいる。

問題4 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 十分な経験を有し、熟達した作業能力
2. 技術の進展等に的確に対応した知識
3. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力
4. 想像・自由・奔放など幅広い分野における多彩な能力

問題5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 約束を守る。
2. 健康である。
3. 実行する前に理屈を説明する。
4. 決断力を持って行動する。

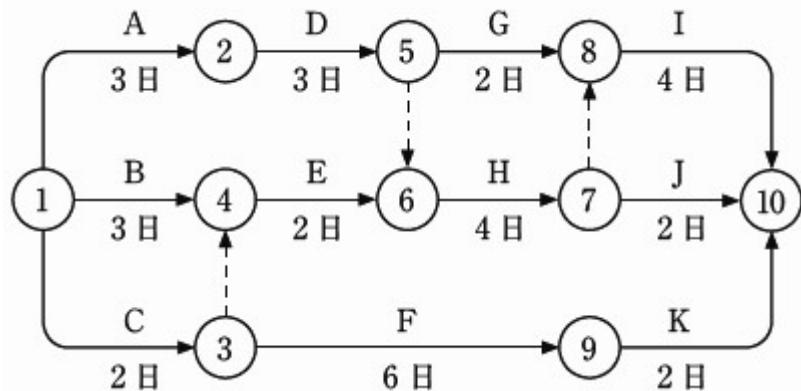
問題6 登録基幹技能者としての法令の遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 雇用契約とは、労働者が雇用者の指揮・命令に従って仕事をすることを約束し、雇用者は労働者から提供された労務に対して報酬(賃金)を支払うことを約束することにより成立する契約である。
2. 請負契約とは、請負者が契約に定められた仕事を完成することを約束し、発注者がその完成された仕事に対して報酬を支払うことを約束することにより成立する契約である。
3. 労働者派遣契約とは、自己が雇用する労働者との雇用関係を維持したまま、その労働者を他者の指揮・命令下において従事させることを内容とした契約である。
4. 建設業務に対する労働者派遣は認められているので、「請負契約」を締結していくながら、労働力を供給し、実態としては「労働者派遣契約」であるケースが多い。

問題7 登録基幹技能者が担うべき指導・教育、自己啓発に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 部下への信頼とコミュニケーション
2. 上司のペースに合わせた指導育成
3. 部下の幅広い職務能力の育成
4. 部下へ継続的に日常的に実施

問題8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表のクリティカルパスは、A-D-H-Iである。
2. この工程表の工期は、14日である。
3. 作業Fのトータルフロート(余裕日数)は、4日である。 $12 - (2+6) = 4$
4. 作業Fの最早開始時刻(EST)は、3日である。

問題9 新しい技術に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BIMは単なるソフトウェア技術の範囲を超えて、建築プロジェクト全体の生産性向上のための運動全体を指す用語として用いられるようになってきている。
2. BIMとは、建設時や施設の資産管理におけるデジタル形式であり、発注者とプロジェクト関係者にとっての成果を向上させるために新技術群とデジタル化された情報、プロジェクトのプロセスの改善と資産管理を同時にもたらすものである。
3. BIMは、製造業における機械製作や機械設計を行う際に必要であり、意思決定を改善する戦略上重要な役割を果たす。
4. BIMは、新築プロジェクトに適用されるだけでなく、維持管理工事、改修工事や施設運営など施設の環境を維持するための活動全般に適用される。

問題10 建設業法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 下請負契約書面の交付については、災害時等でやむを得ない場合を除き、原則として下請工事の着工前に行わなければならない。
2. 下請負契約書面には建設業法で定める一定の事項を記載することが必要である。
3. 注文書・請書による下請負契約を締結する場合は、次に掲げる場合に応じた要件を満たさなければならない。
4. 下請負契約では、書面契約以外の方法による契約は認められない。

問題11 建築用仕上塗材および塗料に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建築用仕上塗材は石やタイルなどに比べて重量が軽い。
2. 建築用仕上塗材は石やタイルなどに比べて下地の挙動に対する適応性が小さい。
3. 塗料は、最大でも 100 ミクロン未満の薄いフラットな仕上げが多い。
4. 仕上塗材は 0.5~15mm という厚塗りで粗い凹凸とするものが多い。

問題12 コンクリート面に二丁掛けタイルを接着剤張りとした、セメントモルタルによるタイル下地の計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリート面を超高压洗浄とした。
2. 吸水調整材を 4 から 5 倍液とした。
3. 下地調整塗材を CM-1 とした。
4. タイル下地セメントモルタル仕上げ表面を金鑄仕上げとした。

問題13 JIS A 6909(建築用仕上塗材)の仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 内装厚塗材Gは、内装せっこう系厚付け仕上塗材のことである。
2. 外装薄塗材Eは、外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材のことである。
3. 内装薄塗材Wは、内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材のことである。
4. 内装薄塗材Cは、内装消石灰・ドロマイド・セメント系薄付け仕上塗材のことである。

問題 14 左官用語に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 再乳化形粉末樹脂は、加水して攪拌・混合することで合成樹脂エマルションになるもので、効果は合成樹脂系混和材と同等である。
2. 剥離は、セメントモルタル層と躯体コンクリートとの界面における相互の接着が不良となり、隙間が生じ部分的に分離する状態のことである。
3. 下地調整は、仕上げ材料が下地と充分に接着するように、下地の脆弱部分や汚れ部分を除去する作業。
4. 「白華」は「エフロレッセンス」といい、レンガ目地、コンクリート等の表面からに流出した水酸化カルシウムが、結晶化した白色の物質である。

問題 15 単層下地通気構法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 防水紙は通気層より躯体側の防水紙は、透湿防水シートとする。
2. ステープルは、M 線以上の線径で、脚長を 25mm 以上のものとする。
3. 質量 800g/m^2 以上のリプラス、リブ系ラス、防水紙付きリブ系ラス、または同等以上の性能を有するものとする。
4. 防水紙は鎧張りで、継ぎ目部は幅 90mm 以上重ねる。

問題 16 標準仕様書の監修もしくは編集・発行に関して最も不適当なものはどれか。

1. 公共建築工事標準仕様書は国土交通省大臣官房官庁営繕部が監修している。
2. 公共建築改修工事標準仕様書は、社団法人公共建築協会が編集・発行している。
3. JASS15 は、一般社団法人日本建築仕上学会が編集している。
4. 左官施工法 2020 は一般社団法人日本左官業組合連合会が編集・発刊している。

問題 17 塗り壁の故障の原因、内容、是正措置とそれとの組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか

1. 下地の吸水が激しいときは、吸水調整材を水で 4~5 倍にして下地に塗布した。
2. エフロレッセンスは、しみ・はく離を発生するので、除去することが必要である。
3. 上塗りで、ひび割れや剥離が発生するのは、塗り層で下塗りほど貧調合したことによる。
4. 未乾燥のセメントモルタルにせっこうプラスターを塗り付けると、はく離やひび割れが発生するので、十分に乾燥させてから塗り付ける。

問題18 劣化のメカニズムに関して、最も不適当なものはどれか。

1. コンクリートの下地にセメントモルタルを塗りつけてある左官仕上げの壁は、
2. その境界面では、3. 異なった変形挙動がおきる。これを4. サーマルムーブメントという。

1. コンクリートの下地にセメントモルタルを塗りつけてある左官仕上げの壁
2. その境界面
3. 異なった変形挙動
4. サーマルムーブメント

問題19 施工計画作成における調査、検討が必要な項目に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 契約書、設計図書などの契約条件
2. 仮設備計画
3. 設計条件
4. 機械設備の選定

問題20 仮設備計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 仮設備は、工事目的物であり、工事完成後も原則として取り除かない。
2. 一般に仮設備は、本工事とは異なり指定された設計図ではなく、必要かつムダのない合理的な計画とする。
3. 仮設構造物は使用期間が短いため、安全率を多少割り引いて設計することがある。
4. 仮設備の材料は一般的の市販品を用い、できるかぎり規格を統一し、他工事にも転用できる計画とする。

問題21 資材搬入を実施するための調査事項に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 運搬車両の駐車位置。
2. 搬入資機材の大きさおよび重量。
3. 建設副産物の処理方法。
4. 搬入経路の状況。

問題22 見積原価の管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工範囲は重要な確認事項であり、取り合い部分の施工はどの業者の責任かなど、工事範囲の明確化には注意が必要。
2. 工事着手の時期に関わらず工事費は1年を通じて変わらないと考える。
3. 建設業は個別生産であり、その場所によって現場条件が変わる。
4. 見積り段階で判明した設計図面の相違は、質疑することが大切である。

問題 23 わが国建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の労働災害による死者数は、この50年間で11%に減少した。
2. 死亡災害を事故の型別で見ると、建設工事全体では爆発火災による事故が最も多い。
3. 建設業は、他産業と比べて労働災害発生率が高い産業である。
4. 労働災害とは、就業中や通勤途上の負傷、疾病、障害、死亡などの災害である。

問題 24 各種労働災害防止について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 高さが2m以上の所で施工する足場組立には、作業床を設置する必要がある。
2. 解体工事では、石綿による健康障害防止対策を考える必要がある。
3. リフォーム工事は小規模な工事が多いため、安全対策は特に必要がない。
4. 異常気象が予想される場合は、作業中止を含めて作業予定を検討する必要がある。

問題 25 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 複数業者が混在する50人の建設現場の2次下請け業者では、安全衛生責任者を選任する必要がある。
2. 型枠支保工の組立作業は、作業主任者を選任しなければならない作業に含まれる。
3. 特定元方事業者は作業員を雇い入れた時には、作業員に対して作業手順を丁寧に示せば特に安全衛生教育を行う必要がない。
4. 現場では、作業員は常に安全な作業環境を保つ義務を有する。